

# えひめ 地域づくり協働体通信

内子町小田地区にある「道の駅小田の郷せせらぎ」において誕生したオリジナル商品ブランド“オダメイド”。新聞等で取り上げられましたので、目にしたことのある方も多いかと思えます。そんなオダメイド、またその地域に及ぼした影響についてレポートしております。皆さまの地域活動の参考にしていただければ幸いです。

内子町小田（おだ）地区

キーワード：地域産品開発、地域資源活用、交流人口拡大

## ●道の駅初となるオリジナル商品ブランド “オダメイド”

内子町の山間に位置する小田地区。人口約 2,500 人で高齢化率は 50%を超えています。この地域に「道の駅小田の郷せせらぎ」ができて 12 年。小規模な店舗ながら新鮮な野菜や果樹をはじめ、山里ならではの「原木椎茸」や「アピオス」「菊芋」「パンダ豆」など、珍しい農作物も並んでいます。



この道の駅を拠点に特産品開発や町おこしに取り組



もうということで 2014 年 10 月に地域おこし協力隊が着任。地元の農家や料理人、U ターンしてきた若者とともに、「えひめ農商工連携ファンド」を活用して、小田地区産 100%の素材にこだわったアイスクリーム（はったい粉、黒豆、人参芋）やコンフィチュール（よもぎ、人参芋、菊芋と柚子）等の試作に取り組み、2016 年春に“オダメイド”ブランドとして商品化に至りました。

まだまだ生産体制の構築や販路開拓への取り組みは手探り状態とのことですが、様々なメディアに取り上げられ、県内外からの視察も増えるなど、小田地区の知名度向上や交流人口の増加には繋がっているのではないのでしょうか。

## ●“オダメイド”が地元小学校の総合学習に

そんな中、小田小学校 3 年生の総合学習のテーマとなった“オダメイド”。6 名の元気な児童たちが道の駅の店内や加工所を見学に来ては、たくさんの素朴で鋭い質問をしてくれたそうです。スタッフが授業に参加する機会もあり、研究の途中で出てくる疑問に答えたり、活発な意見交換で盛り上がっていました。

1 年間の最後には、児童たちが考えた“オダメイド”の新メニュー発表会を開催。それぞれ、家族の人たちに身近な美味しい食材をヒアリングした成果が出て、栗、柚子、ブルーベリー、干し芋、ハチミツ



など小田らしい食材にしっかりと注目していました。中には詳細なレシピまで調べてくれた子がいたり、小田でブルーベリーを作っている人がいることを初めてスタッフが教えてもらったり、子どもたちの地域への強い興味や自由な発想がのびのびと発揮されて、とても有意義な交流が行われていました。



この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

## ●地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: [chiikiseisak@pref.ehime.jp](mailto:chiikiseisak@pref.ehime.jp)

(公財)えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: [info@ecpr.or.jp](mailto:info@ecpr.or.jp)